## EA942AB-2 耐熱塗料



用途 暖房器具、焼却炉、煙突、加熱部品 つや消しブラック(日本塗料工業会 DN-20の近似色) 耐熱温度 650 内容量 300ml 標準塗布面積 1.5~2.0m<sup>2</sup> 乾燥時間 常温24時間以上

### 使用方法

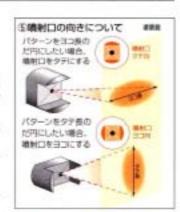
- ①塗装面が熱い時には道装しないでください。
- 2.塗装表面の汚れ、油分、舗等をよく取り除いてください。
- ②塗料が付いては国る部分はあらかじめ新聞紙・マスキングテープでおおってください。
- ④使用前にはスプレー缶の中に入っているビー玉の音が聞こえるまで容器をよく振ってください。 スプレーの合関にも振ってください。
- ⑤この塗料はだ円形に噴射します。噴射口を回転させ、塗りやすい方向に変えることができます。ます、目立たない部分で試し塗りをして色、噴射の状態、乾燥性、下地への影響、密着性などをよく調べて、異常がないことを確かめてから塗装してください。(表示の色は実際の色と多少異なることがあります。)
- ⑤ノズル位置を塗装面から30~40cm位差して吹き付けてください。一度に厚塗りをしないで塗る面と 平行に移動しながら、ややうすめに塗装していただくほうが効果があります。(機厚:10~20µm)
- ⑦気温が下がると塗料の出方が悪くなります。その時はぬるま湯(30℃程度)に3~5分つけてから使用しください。
- ⑥塗り面積、乾燥時間は、色、素材、形状、塗り方、気象条件の違いにより多少異なります。
- 回途接後すぐに加熱すると塗膜がふくれたりすることがありますので、常温で24時間以上放置後、稼動するようにしてください。
- 6常温乾燥後の途膜は指触乾燥程度で完全硬化には至っていません。稼動により一時的に粘着性を用び 発煙しますがやがて煙は止まり途膜は硬化します。
  - (180℃程度の熱が20~30分以上かからないと完全硬化には至りません。)

### 〈用具のお手入れ方法〉

使用後は容器を逆さにして液がでなくなるまで空吹きし、ノズル穴を布などで拭いてからフタをしてください。 (もし、ノズル穴が詰まった場合はシンナーで洗浄してください)

# 取り扱い上の注意

- ①表示以外の用途や耐熱温度以上の場所には使用しないでください。②天気の良い、温度の低い日に塗装してください。
- ③火気のある所や、燃焼中のストーブなどには吹き付けしないでください。
- ④食器など食品に直接触れるものには塗装しないでください。
- 5缶を迎さにした状態では使用できません。
- ⑥有機溶剤が含まれていますので塗装中、乾燥中とも換気を良くし、 蒸気を吸い込まないようにしてください。
- ⑦取り扱い中は必要に応じてマスクや手袋を着用してできるだけ皮膚 に触れないようにしてください。
- 京取り扱い後は手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- ④廃棄する際は押しボタンを押して中のガスを十分に抜き、他のゴミ とはっきり区別して廃棄してください。
- 事やむを得す中身の連科を捨てるときは、火気のない服外で新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般のゴミとして処分してください。





## 保管上の注意

- ①子供の手の届かないところに保管してください。
- ②中身が漏れたり破裂する危険がありますので、湿った場所など錆び やすい所や、直射日光の当たる所、自動車内、暖房器具の周辺等の 温度が高くなる所には置かないで冷略所へ正立保管してください。
- ③開封後はなるべく早期にご使用ください。

#### 救急処置

- ①皮膚に付着した場合は多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外側に 変化があるときは医師の診察を受けてください。
- ②目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ③蒸気・ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄 な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- ④火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- ※詳様な内容が必要な場合には、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。